

序 文

奈良は、都である平城京がおかれて以来、今日に至るまで1290年もの間、日本の心の故郷として歴史と文化を育んできたまちであります。長年にわたって守り継がれてきた自然と文化遺産は、平成10年に「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録されました。新世紀を迎え、奈良は歴史と文化の中心地としての役割を担い、国際文化観光都市としてさらなる飛躍をしていこうとしております。

さて、奈良市では、住みよい活力あるまちづくりを目指して、都市計画道路の整備事業を進めており、このうち西大寺一条線の建設は、近鉄西大寺駅へのアクセスを便利にし、この地域の発展を図る主要事業であります。この事業区にかかる西隆寺跡は「古都奈良の文化財」の平城宮地区に隣接した重要な遺跡であり、事業計画の当初から、道路面を高くするなど遺跡の保護に努めてまいりました。

道路建設に先立つ発掘調査につきましては平成2年度から継続しておりますが、今回の現地調査にあたりましては奈良国立文化財研究所のご指導のもとに行い、この報告書の作成につきましても同研究所にお願いし、ご協力を賜りました。

ここに、ご指導、ご協力いただきました関係の皆様に対しまして、あらためて厚く御礼申し上げます。

平成13年3月

奈良市教育委員会

教育長 冷水 毅